

## 新規就農を目指す地域おこし協力隊

### 小野塚 洋次さんが着任



11月2日、地域おこし協力隊（農業支援員）が着任し、『業務委託式』が行われました。着任した小野塚さんは、今後、町内での酪農研修を通して営農技術の習得に励み、3年後の新規就農を目指します。

担い手・労働力不足が課題である地域農業の振興に尽力いただき、将来の担い手として活躍が期待されます。

## 株式会社梶浦組による地域貢献 新冠小学校校舎裏の畑整備



11月7日、株式会社梶浦組が、新冠小学校校舎裏の畑の土入れ替え作業を行いました。校舎裏には以前ハウスがありました。ハウス撤去後は未整備だったことから、同社が地域貢献活動により作業を行いました。

学校では、この広くなった畑を活用し野菜作りなどに取り組みながら産業や食育の学習に繋げていく計画を立てています。

## 28名の主役 心一つに

### 朝日小学校学芸会



新型コロナウイルス感染症対策として規模の縮小や消毒、マスク着用などの対策を講じ、11月14日、朝日小学校で児童28名による学芸会が開かれました。

10月に運動会、11月に学芸会と大行事が2カ月連続で行われる中、限られた練習期間ではありましたが、児童たちは、皆で心を一つに協力し合いながら練習に励み、当日は器楽演奏や自由発表などを熱演し、保護者から大きな拍手が送られていました。

## その1 ま ち の 話 題 あ れ こ れ

## 日高自動車道 節婦川橋工事 節婦自治会 工事の進捗状況を見学



11月14日、節婦自治会員17名が日高自動車道節婦川橋の工事現場の見学を行いました。これは、工事請負業者の飛鳥建設株式会社の地域貢献事業として特別な計らいで実施されました。

参加者は工事用エレベーターで地上約26mまで上がり、佐井所長から高耐久性や高耐震性の技術に優れた工事手法、工事の進捗状況について説明を受けました。

## 石けんづくり挑戦!! アロマの香りでコロナ疲れ解消!!



11月14日、レ・コード館で『手作りアロマ石けん講座』が開かれ、午前の部7名、午後の部5名の計12名が参加しました。

この日は、アロマセラピストの佐藤理香さんを講師に迎え、新型コロナウイルス感染症対策としてZOOMにより講座を行いました。

参加者は、石けん、アロマオイル、ハーブなどを使い、佐藤さんの手順を見ながら、楽しく作業を進めていました。

## 多彩な演出で盛り上がった

### 新冠中学校学校祭



新型コロナウイルスの影響により延期となっていた『新冠中学校学校祭』が、11月19日に開かれました。

今年は、感染症対策として規模を縮小して行われましたが、3年生中心の生徒会実行委員メンバーが知恵を絞り工夫し、新しい企画やパフォーマンスで学校祭を盛り上げました。

準備期間も短く例年と違う形での実施となりましたが、2年生の演劇では、今年10月に全生徒に配備されたパソコンを活用し、リモート演劇を披露するなど、レベルの高いパフォーマンスで会場を魅了しました。

## 美しい景色を見ながら

### みんなで楽しくウォーキング!!



11月7日、レ・コードパークを発着点とした『ウォーキング教室』が開かれ、18名が参加しました。

この日は、スポーツ推進委員が講師となり、正しい歩き方や目標心拍数の求め方などを説明した後、出発しました。

参加者は、レ・コードパークから新冠温泉を折り返す紅葉のきれいなコースの景色を眺めながら、ウォーキングを楽しみ心地よい汗を流していました。

## 社会福祉事業功労者表彰及び 身体障害者自立更生者表彰



11月13日、役場会議室で『令和2年度北海道日高振興局長表彰（社会福祉関係）伝達式』が行われ、当町から2名の方が受賞されました。

民生委員・児童委員や社会福祉法人新冠ほくと園の役員を永きにわたり務められた前山佳弘さんと、障害を克服し町身体障害者福祉協会の運営に尽力された三國壮次さんに対し、鳴海町長から表彰状が伝達されました。

## 郷土資料館にかかわった人たち 私たちが伝えたいふるさとの“かたち”



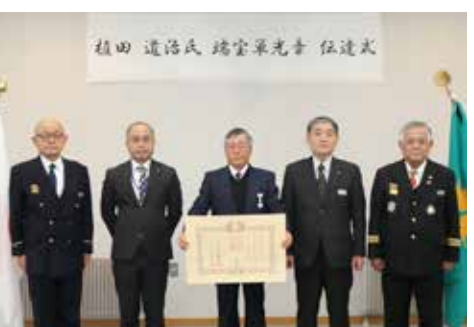
11月21日、レ・コード館で町郷土資料館40周年記念事業の学習会が開かれ、20名が参加しました。

これは、同資料館の40周年記念事業の一つで、計3回の連続講座の1回目の学習会。

参加者は、『資料館が歩んだ40年』、『エゾオオカミと新冠』、『二宮金次郎像と戦時中の学校』についての臨場感あふれる講話に、興味津々に聴き入っていました。

## 字節婦町 植田 道治さん

### 瑞宝単光章を受章



このたび、字節婦町の植田道治さんが瑞宝単光章を受章し、12月3日、役場会議室で、日高振興局北村局長より勲記と勲章が伝達されました。

植田さんは、昭和45年に新冠町消防団に入団され、平成16年からは分団長を5年6カ月間歴任されるなど、約40年間の永きにわたり、地域住民の生命や財産を守る消防活動に尽力されました。